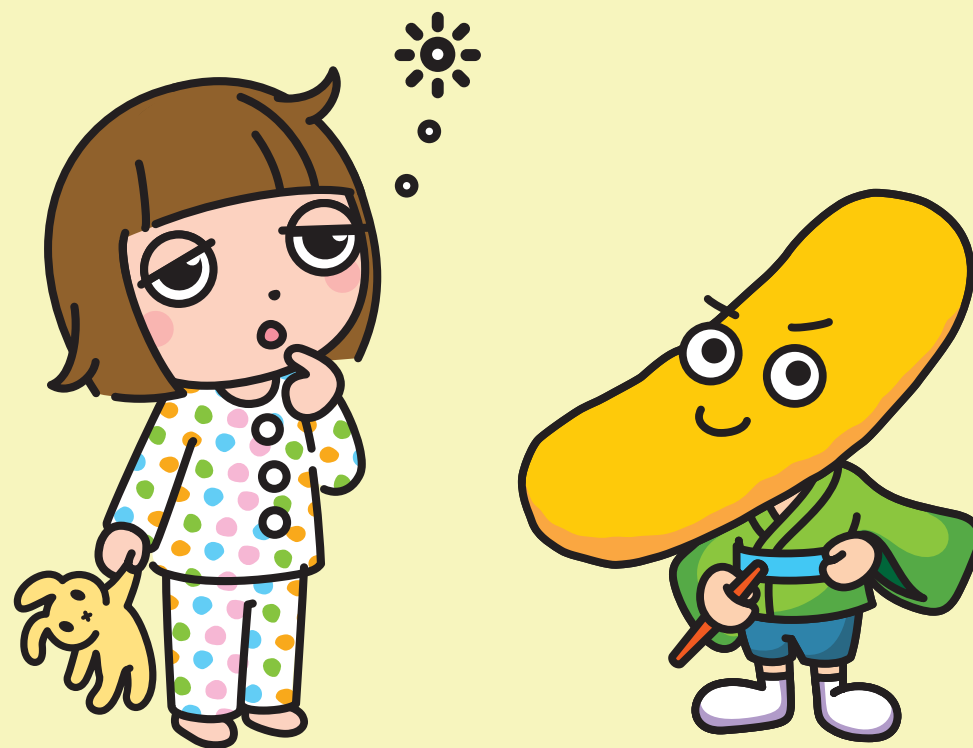


ヒミツのどっこくん。



ヒメちゃんという、
ちよつとこまった女の子がいました。
なにがこまった子なのかというと……。

朝、おきる時間です。

ヒメちゃんはいつまでたってもおきてきません。

夜、おそくまでおきているからです。

おかあさんが「はやくおきなさい!!」

とカンカンにおこっているのに、

ヒメちゃんはおふとんのなか……。

まい日、まい日、こんなこまった生活が

つづいていた、ある日のこと。

ちいさな声が

聞こえてきました。

「元気よくおきて、

おはよう!を

言わなくちゃ

いけないんだよ〜」

ヒメちゃんは、

ねむい目を

こすりながら、

どこから

聞こえるのかなあ?

とフシギです。



けつきよく、

学校におでかけの時間になってしまいました。

「あーあ。朝ごはんを食べる時間がなくなっちゃった。まっイヤー！」

ヒメちゃんは学校へ行きます。

さつきより、ちよっとだけはっきりと

小さな声が聞こえてきます。

「朝ごはんは

ちゃんと食べないと

ダメなんだよ〜」

ヒメちゃんは、

その小さな声が

どこからするのか

キョロキョロ

しています。

あさ
朝ごはんは
た
ちゃんと食べないと
ダメなんだよ〜



学校につきました。

おべんきょうはつまらないけど、

お友だちとおへやであそぶのは楽しい!!

「あつ。ちょっと、ウンチがしたいかな？」

でも：ウンチだってバレたらはずかしいし…

おうちに帰ってからトイレに行けばイイヤー!」

ヒメちゃんは、ウンチをガマンしてしまいました。

さつきよりもさらに、

はつきりと

小さな声が

聞こえます。

「ウンチは

はずかしがらずに、

したいときに

トイレに行かなきゃ

いけないんだよ」

ヒメちゃんは、

またまた

フシギそうです。



きゆうしよくの時間です。

みんな手をあらいに行ったのに、
ヒメちゃんだけいきませんでした。

「だって、手をあらいに行くのめんどうくさだし、
ハンカチわすれちゃったんだもん」
さつきよりも、もっとはっきりと
小さな声が聞こえます。

「ヒメちゃんの手、
きたないよ。
それでごはん食べたたら、
おなかがいたく
なっっちゃうよ〜」

ヒメちゃんは、
小さな声に
おどろかなく
なりました。

「いっいたらイイの!!!」



きゆうしよくのおさらには、
だいすきなハンバーグと、
だいきらいな野菜の”にももの”がついています。
ヒメちゃんはあさごはんをぬいていたので、
ハンバーグをのみこむように食べました。
でも、野菜の”にももの”は
食わずにのこしてしまいました。
さつきよりも、さらにはつきり、
そしておこったような小さな声が聞こえます。

「すききらいしないで、」

野菜もモリモリ食べなきやだめだよ。

それに、ごはんを食べるときは、

よくかまなきやだめだよ。」

ヒメちゃんは、小さな声が聞こえているのに、
しらんぷりをしました。

ヒメちゃんは、おうちへ帰ってきました。
うちに帰っても、手をあらいません。
そして、おやつをいっぱいもってきて
ムシヤムシヤ食べながら
テレビゲームをはじめました。

さつきよりも、もっとはつきり、

そしてあきれたような小さな声が聞こえます。

「おてんきなんだから、

外でげんきよく遊んだほうがいいし、

おやつばかり食べてると

ごはんが食べられなくなるから

少しにしたほうがいいよ〜」

ヒメちゃんは、おやつを食べて

ゲームを続けました。

夕ごはんの時間になりました。

ヒメちゃんは、おやつを食べすぎて

おなかがいっぱい。

夕ごはんなんて食べられません。

さつきよりもはつきり、

おどかさすような小さな声が聞こえます。

「ほくらね。言ったとおり、

ごはんが食べられない…。

きつとそのうち…。」

ヒメちゃんは、ちよつとこわくなりました。

しばらくすると…

おなかのおくのほうが
ズンズン、ズンズン
いたくなってきました。
ヒメちゃんはシクシク
なき出しました。

「おなかがいたい！
おなかがいたい!!」



すぐそばで、
ちよつとたのもし
小さな声が
聞こえます。

「トイレに行こう！
そして、おなかの中を
スツキリしよう!!
ぼくがついているから
だいじょうぶ!!」



ヒメちゃんはこわごわ、
聞いてみました。

「あなたはだれ？」

「ぼくは、どっこくん。」

どっこ王国の王子だよ。

もうすぐ会えるから待っててね」

ヒメちゃんは、

小さな声の言うとおり、
トイレに行きました。

しばらくすると、

ウンチが出て、

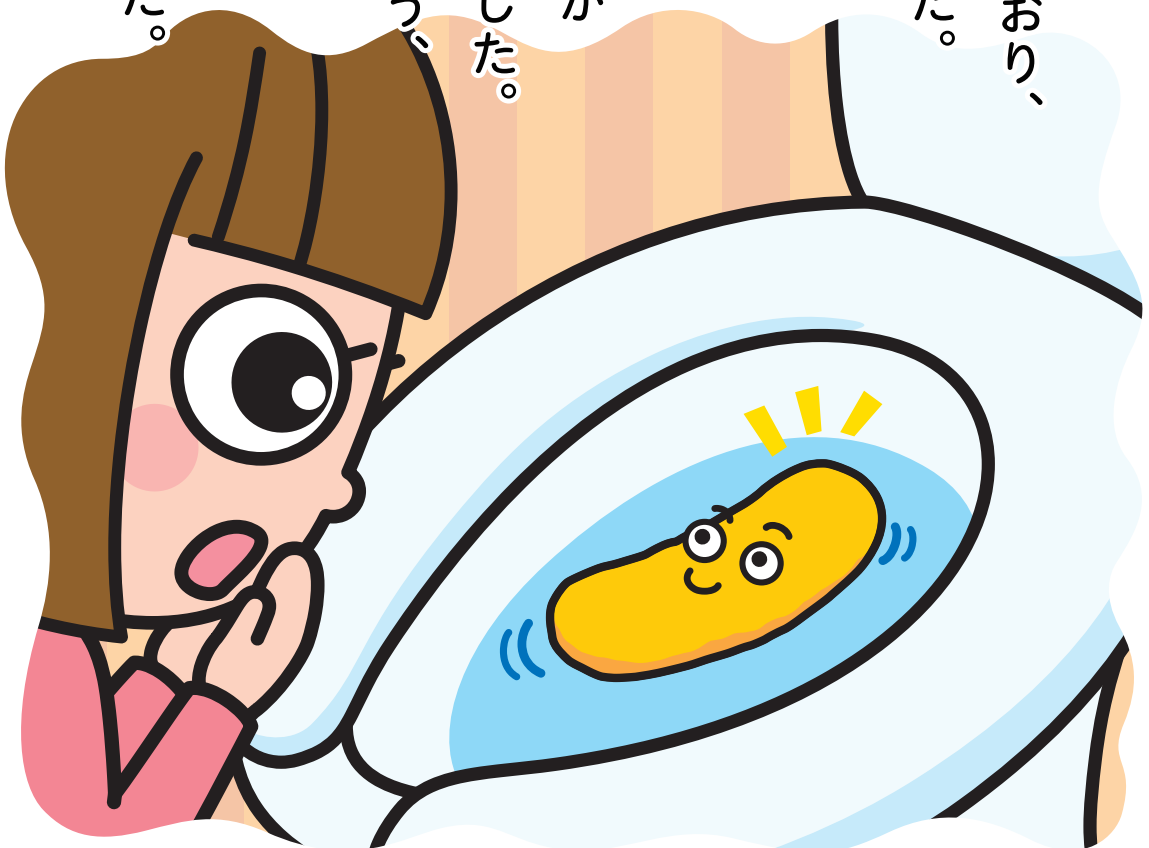
おなかがいいたいのが
すっかりなおりました。

するとどうでしょう、

ヒメちゃんの

ウンチが

しゃべりだしました。



「ぼくは、どっこいくん！」

ヒメちゃんが心配で、会いにきたよ。

ヒメちゃんのおなかの中で

ぼくたちのなかまは生まれるんだ。

ヒメちゃんがちゃんと、早寝早起きをして、

ウンチをガマンしないで、食べる前には手をあらって、

すききらいをなくして、

おやつを食べすぎないようにして、

外で元気よくあそぶっ！というおやくそくを

まもってくれたら、

ぼくの国は、

かっこいいウンチ

ばかりになるよ。

でも、まもれなかったら

がっかりウンチに

なっちゃうから

きをつけて！

ぼくは、いつでも

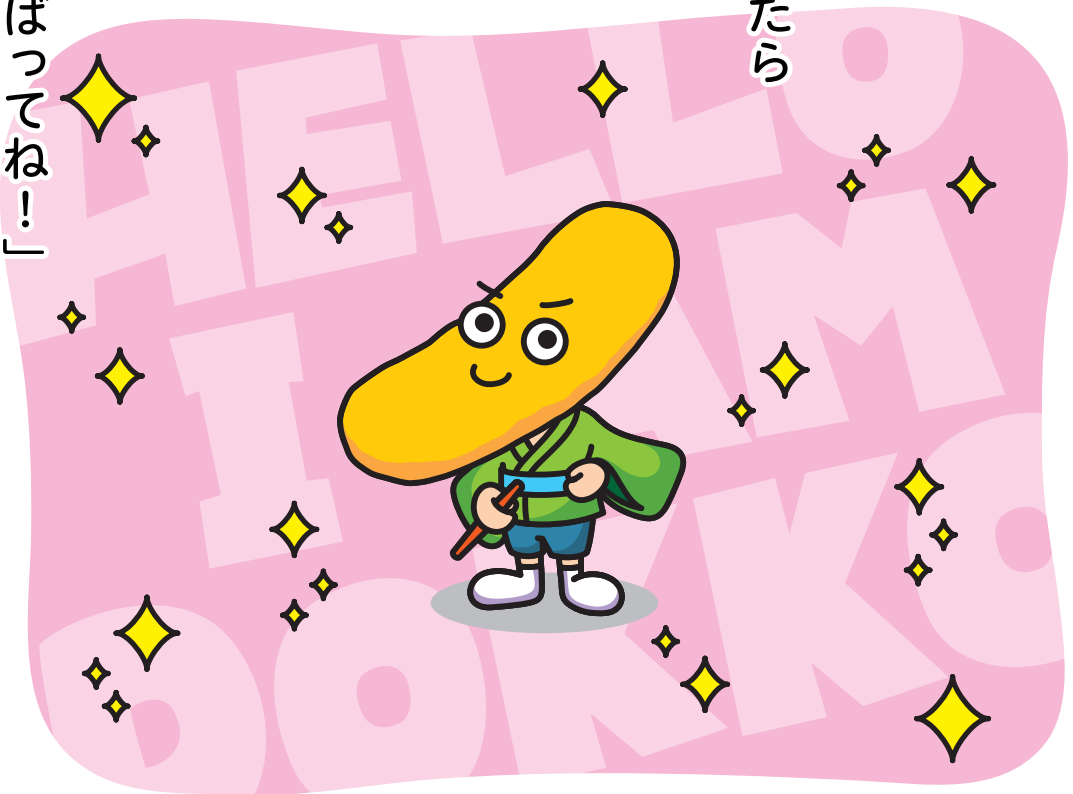
ヒメちゃんのお

なかの中に

いるからね

かっこいいぼくに

会えるように、がんばってね！」



このひから、

せかい中のあちこちの子どもに

「小さい声」が聞こえるようになりました。

ときには「フーイーち小さい声、

ときにはとってもやさしい小さい声。

もちろん、小さいけれどもよく通る声で、

「えらいね！かっこいいウンチだね!!」と、

ほめてもらった元気な子もいます。

